

大田文化の森納涼企画 お哢の森

講談と薩摩琵琶でさく

耳なし芳一

8.19 2023 土

デザイン・イラスト：まつもとりょうた

大田文化の森 ホール

(東京都大田区中央 2-10-1)

プログラム

午前の部 11:00 開演 (10:30 開場)

レクチャーワークショップ／琵琶演奏／講談／『耳なし芳一』(琵琶×講談)
子ども向けの約1時間のプログラムです。(休憩はありません)

料金 (全席指定・税込) 一般 **1,500** 円／中学生以下 **500** 円
※4歳以上入場可

午後の部 15:00 開演 (14:30 開場)

<前半> 講談／琵琶演奏 <後半> 『耳なし芳一』(琵琶×講談)
本格的な講談と琵琶の演奏をじっくりきかせる約120分の公演。(休憩1回)

料金 (全席指定・税込) **2,500** 円 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

車椅子席(2席)をご希望のお客様は電話か窓口でお求めください。
新型コロナウイルス感染防止策の詳細は、大田区文化振興協会ホームページをご確認ください。



神田 山緑 (講談師)

川嶋 信子 (薩摩琵琶)

出演

チケット発売日

2023年6月14日(水)10:00 発売開始

■オンラインチケット (24時間対応)

<https://www.ota-bunka.or.jp/>

※発売日から8/18(金) 19:00まで
座席をご予約いただけます
※別途手数料がかかります。



オンラインチケット
購入サイト

■チケットセンター

03-3750-1555

受付時間：発売初日(6/14) 10:00-14:00まで

発売初日 14:00 以降は

下記2館でも電話予約・窓口販売いたします。(10:00-19:00)

・大田区民ホール・アプリコ TEL 03-5744-1600
・大田文化の森 TEL 03-3772-0700

「耳なし芳一」 あらすじ

むかしむかし、現在の山口県下関に、阿弥陀寺というお寺がありました。そこには琵琶を弾くのが大変上手い、芳一という盲人がいました。彼が弾き語る『平家物語』は大変すばらしく、中でも源氏勢に追い詰められた平家の一軍が、まだ幼い安徳天皇と共に下関海峡の壇ノ浦に身を投じる場面には、きくものすべてが涙すると評判でした。

ある暑い夏の夜、寺の和尚が外出したため、ひとり寺に残り、琵琶を稽古する芳一。

すると、どこからか自分を呼ぶ声がします。声の主は、鎧をかぶった武者でした。

武者は、自分が仕える身分の高い人物が、評判の高い芳一の弾き語りをききたいと言うため、寺まで迎えに来たと言うのです。

身分の高い方が自分の琵琶をききたがっていると知ってうれしくなった芳一は、言われるがまま声のあとについていくのですが…。



「出演者」プロフィール

《講師》

神田山緑

(かんださんりよく)



中央区日本橋人形町出身。2006年5月講談協会前座。2018年3月、12年の異例のスピードで真打昇進。2014年東京オリンピックに向け講談ゴリンジャーを結成。同年、中野区観光大使就任。全国で公演を行うだけでなく、NHK「美の壺」「天才てれびくん」「講談大会」、日本テレビ「ズームイン！！サタデー」「ぐるぐるナインティナイン ゴチになります!」、TBSビビット、BSジャパン「土曜は寅さん」のナレーションや、明治乳業のCM、ロス・プリモスの専属司会、舞台刀剣乱舞に出演など幅広く活動。また、現在最多300名の生徒数を誇る講談教室を主宰。NHK文化センター講師、明治大学、東洋大学、文教大学、清泉女子大学特別講師、敬愛大学客員教授としても活躍。2021年7月 NHKラジオにて東京オリンピック開催式特番に出演。パラリンピック聖火ランナー。

2022年3月なかのなかの株式会社代表取締役就任。

『講談で身につくビジネスに役立つ話術の極意』を上梓。

張り扇で釈台をパパンと叩き、武勇伝や軍記などのお話を、メリハリつけて調子よく、わかり易く聞かせる寄席演芸のひとつ。江戸時代初期、今から400年以上も前に始まったと言われる伝統の話芸です。

講談
とは？

《薩摩琵琶》

川嶋信子

(かわしまのぶこ)



桐朋学園大学芸術学科卒業。洗足学園音楽大学非常勤講師。

薩摩琵琶を鶴田流・岩佐鶴丈に師事。イベント出演や神社仏閣、美術館などさまざまな場で琵琶の魅力を発信し、平家ゆかりの地でも毎年演奏を行う。他にも琵琶2人のユニットや無声映画の楽師、舞踏との共演など、その活動は多岐に渡る。平家物語などの古典演奏のみならず、積極的に創作活動を行い毎年新作を発表。特に“かたる声”には定評があり、力強い低音から透き通るような高音まで、奥行きのある響きと表現で物語を伝えている。

また、一日体験教室“まなびわ”を毎月開講し普及活動に尽力しながら、“琵琶寄席”を開催し業界の活性化にも努めている。

NHK邦楽オーディション合格、琵琶楽コンクール上位入賞多数。

立てて構え、大きく鋭角なバチを激しくたたきつけるように弾く奏法が特徴の弦楽器です。戦国時代に薩摩藩の島津忠良が、中国から伝来した盲僧琵琶を、武士達の士気高揚の為に改良したのが始まりとされています。

薩摩琵琶
とは？

「アクセス」大田文化の森

東京都大田区中央 2-10-1

【TEL】03-3772-0700 【FAX】03-3772-7300

JR 京浜東北線「大森駅」西口から

東急バス 池上方面行「大田文化の森」下車約1分

東急池上線「池上駅」から

東急バス 大森方面行「大田文化の森」下車

